

## 令和6年度 第2回 みどりっ子育成協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和6年9月26日(木) 14時30分から16時15分まで
- 2 開催場所 新原小学校 パソコン室
- 3 出席委員 嶋田 ゆかり、クリステンセン 勇美、田口 保司、岩谷 智之、下石 雅子、  
山岸 麻美子、森島 しのぶ、森田 歩、西尾 孝治(途中出席)
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 梶 通安(亀玉協働センター職員)
- 6 学 校 中村 憲司(校長)、片瀬 智美(教務主任)、服部 美保(CSディレクター)
- 7 教育委員会 井島 健蔵(教育総務課)
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 服部 美保
- 10 議長の選出  
司会のクリステンセン委員から、議長の選出について田口会長を推挙する旨の発言があり、  
全員異議なくこれを承認した。

### 11 協議事項

- (1) 今年度の教育活動について
  - ・1学期の学校の様子、2学期の学校行事等について
- (2) 「いじめの現況」について
- (3) 全国学力学習状況調査について
- (4) 令和6年度協議会自己目標について

### 12 会議記録

司会から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 今年度の教育活動について

議長の指示により、片瀬教務主任から、1学期の学校の様子と2学期の学校行事等についてスライドにて説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・授業を参観して感じたことは、教師が子供たちに考えさせるような授業をしているということ。良いと思う。英語の授業では自分の時代と大きく変わったと感じた。(田口委員)
- ・最近、中学校の理科の授業ではノートに取らずに、タブレットにそのまま打ち込んでいると聞く。タイピングが苦手な子はそこでつまづいてしまう。数学は講義形式の授業だけでなく、自分にあったレベルのプリントが用意されていて生徒の自主性に任せるような内容になっている。小学生の今の時期から自分事として学ぶ習慣を付けていく必要があると思う。(下石委員)
- ・自主的にできない子にとってどうなのか。詰め込み教育も心配だが、格差を生まないかという心配もある。(山岸委員、田口委員)
- ・小学校でも「個別最適な学び」と「協同的な学び」という観点から、今年の夏休みの課題を一律に取り組むドリルから自分に最適な内容の物を各自選ぶ方式に変更した。(片瀬教諭)
- ・保護者に聞いてみたが意見は賛否両論ある。(山岸委員)
- ・保護者に最適化の意図がうまく伝わっていないのかもしれない。(クリステンセン委員)
- ・今までは学年ごとに同じテキストを一律にやっていた。本来、学習は自分で自分の生活を豊かにしていくためのものだから、やらされるのではなく主体的に学び、自己決定していく子供の姿を目指していきたい。保護者にも御理解いただき、教員と家庭で共に子供たちを励まし育てていきたい。(中村校長)

・読解力の低下が気になる。メールのやりとりの中でも気になることがある。夏休みの読書感想文は大切だと思う。(田口委員)

・子供の学習を家庭で見守ることは大切だと思うが、保護者の力量にも差がある。伝記を読んで感じることは、子供の成長過程において周りの環境が与える部分が大きいということ。学費を無償化したからといって学力格差がなくなるわけではないと思う。(山岸委員)

・先生方は一人一人の特徴をよく見ている。子供は家庭では見られない姿を見せることもあり、良いところ、足りないところを含めて本当によく見てくれてありがたい。(森島委員)

## (2)「いじめの現況」について

議長の指示により、片瀬教務主任から、本校におけるいじめ対策の現況について説明があり、委員から、以下の発言があった。

・近年はSNSのトラブルが増えている。昔は暴力がいじめという認識だったが、今は精神的なものが多い。話を聞いてあげることが大切。(田口委員)

・今年度は全学年を対象に情報モラル講座を進めている。(片瀬教務主任)

・トラブルが起きた時にまず子供同士で話し合い等で解決しようとしなくていいのかな、と思うことがある。(下石委員)

## (3) 全国学力学習状況調査について

議長の指示により、片瀬教務主任から、全国学力学習状況調査について本校の状況について説明があり、委員から、以下の発言があった。

・作文を書くという課題は中学校ではよくある。数学でも解き方を解説するという問題があり文章力は必要。(下石委員)

・敬語をうまく使えない子も多いと思う。(嶋田委員)

・ラインを使うことが増え、家の電話で話をするという機会もない。(下石委員)

・言葉遣いについては場面に応じて指導をしている。(片瀬教務主任)

## (4) 令和6年度協議会自己目標について

田口会長から、令和6年度協議会自己目標について委員に意見を求めた。委員から、以下の発言があった。

・浜松市のPTA連合会の会合に出席した時に、コミスクについて知らない人が多くいてショックを受けた。新原小学校は中でも地域の方々としっかり関わっていると胸を張って言えると思う。情報発信についてはもう一押しと感じる。(西尾委員)

・会合の回数を増やしたほうが良いのか。(田口委員)

・委員の皆さんがやりたいことに応じて回数を決定していけば良い。(教育総務課井島氏)

協議の結果、令和6年度協議会自己目標を、

「発信するコミスク！地域と学校をつなげるコミスク！保護者や地域の認知度を上げよう」に決定した。

## その他連絡事項

・本日配布した令和6年度学校運営協議会自己評価表について、各自記入後10月末までに学校へ提出し、次回の会議で内容を協議することとした。